

科目の単元構成および実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

分野	教育内容	科目	授業科目	単位	時間数	時間数内訳		実務経験のある教員			履修学年			
						授業	試験	専任教員	外部講師	単位	1学年	2学年	3学年	
基礎分野	科学的思考の 人間の生活、 社会の理解	必須科目	心理学	1	30	28	2				○			
			論理学	1	30	28	2				○			
			情報科学	1	30	28	2				○			
			物理学	1	15	14	1				○			
			運動と健康	1	30	22 6(体育祭)	2						○	
			社会学	1	30	28	2				○			
			人間関係論	1	15	14	1				○			
			教育学	1	30	28	2						○	
			英会話	1	30	30	-				○			
			英語	1	30	28	2					○		
		選択科目	体育	1	30	24 6(体育祭)					○			
哲学	1		30	28	2						○			
		看護と経済	1	30	28	2						○		
基礎分野小計				13	360				0					
専門基礎分野	人体の構造と機能 疾病の成り立ちと回復の促進	形態機能学Ⅰ	日常生活行動と生物学的生命		1	30	2 26	2	◎			○		
				形態機能学Ⅱ	生命活動と免疫機構	1	30	28	2				○	
		形態機能学Ⅲ	日常生活行動と生理的機能	動く	1	30	8							
				姿勢・体位等			4		◎					
				息をする			8	2	◎			○		
				話す・聞く・見る			4		◎					
				お風呂に入る			2		◎					
		形態機能学Ⅳ	日常生活行動と生理的機能	眠る			2		◎					
				食べる			4		◎					
				消化と吸収			6		◎					
				尿の形成機序			6	2	◎			○		
		形態機能学Ⅴ	形態機能学演習	トイレに行く			6		◎					
				子どもを生む			6		◎					
				解剖見学 演習	1	30	4 26	-	◎		1	○		
		生化学			1	30	28	2				○		
		疾病の成り立ちと回復の促進	疾病の発生と病理的变化	疾病概論	1	30	18			○医師	1	○		
				生命危機(ショック等)			6	2	○医師					
				生命危機(DIC等)			4		○医師					
			感染症と微生物			1	30	28	2			○		
			疾病と治療Ⅰ	呼吸器・循環器・腎泌尿器の疾病と治療	呼吸器	1	30	10			○医師	1	○	
循環器						10	2	○医師						
腎臓内科						4		○医師						
泌尿器						4		○医師						
疾病と治療Ⅱ	自己免疫・内分泌代謝・消化器の疾病と治療		自己免疫	1	30	8			○医師	1		○		
			内分泌代謝 消化器			10 10	2	○医師 ○医師						
疾病と治療Ⅲ	脳神経・運動器の疾病と治療		脳神経	1	30	10 6	2		○医師 ○医師	1	○			
			内科的疾患 外科的疾患 運動器系			12		○医師						
疾病と治療Ⅳ	感覚器・血液リンパ・女性生殖器の疾病と治療		耳鼻科	1	30	4			○医師	1				
		眼科			4		○医師							
		皮膚			4	2	○医師				○			
		口腔			2		○医師							
		血液造血器 女性生殖器			8 6		○医師 ○医師							
薬理学			1	30	10 18	2		○薬剤師 ○薬剤師	1		○			
治療論Ⅰ	放射線 手術	手術	1	30	6 12 6	2		○医師 ○医師 ○医師	1		○			
		麻酔			4		○臨床検査技師							
		検査												
治療論Ⅱ	栄養学 リハビリテーション	栄養学	1	30	14	2		○栄養士	1		○			
		リハビリテーション			14		○運動療法士							

分野	教育内容	科目	授業科目	単位	時間数	時間数内訳		実務経験のある教員			履修学年			
						授業	試験	専任教員	外部講師	単位	1学年	2学年	3学年	
専門基礎分野	社会健康支援と 社会保障制度	公衆衛生と健康支援	公衆衛生の概念と機能	1	15	6	1					○		
			保健対策			8								
		医療と倫理	1	15	14	1		○医師	1			○		
		社会保障と制度	1	15	14	1						○		
		社会福祉活動	1	15	14	1							○	
		医療と法律	1	15	14	1							○	
		看護と医療過誤		1	15	14	1		○弁護士	1			○	
専門基礎分野				21	540					13				
専門分野 I	基礎看護学	看護学概論		1	30	28	2	◎		1	○			
		看護の理論		1	15	14	1	◎		1		○		
		看護の基本となる技術 I (人間関係成立の技術)	コミュニケーション	1	30	20	2	◎		1	○			
		看護倫理	8			◎								
		看護の基本となる技術 II (対象把握の技術)	フィジカルアセスメント	1	30	24	2	◎		1	○			
		記録・報告	4			◎								
		看護の基本となる技術 III (医療・療養環境を整える技術)	安全な医療環境	1	30	12	2	◎		1	○			
		安全安楽な療養環境	16			◎								
		看護の基本となる技術 IV	看護過程	1	30	28	2	◎		1	○			
		生活を整える技術 I	食事	1	30	12	2	◎		1	○			
		食事・排泄を整える技術	排泄			16		◎						
		生活を整える技術 II	活動休息	1	30	12	2	◎		1	○			
		活動休息・清潔を整える技術	清潔			16		◎						
		診療に伴う技術		1	30	28	2	◎		1		○		
臨床看護技術	主要症状別看護	1	30	20	2	◎		1	○					
	救急法・包帯法			8		◎						○救急隊		
臨床実習	基礎看護学実習 I	人間関係の成立と日常生活支援の実習		1	45	45		◎		1	○			
	基礎看護学実習 II	看護過程の展開と日常生活援助の実習		2	90	90		◎		2	○			
専門分野 I 小計				13	420					13				
専門分野 II	成人看護学	成人看護学概論		1	30	28	2	◎		1	○			
		セルフマネジメントに 向けての看護	慢性疾患とセルフマネジメント	1	30	22	2	◎		1		○		
		慢性腎不全を持つ人のセルフマネジメント	6			◎		○看護師						
		健康危機状況における看護	健康危機状況のアセスメント	1	30	18	2	◎		1	○			
		手術療法を受ける人の看護	手術中の看護			2		◎						
		生命の危機状態にある人の看護				8		◎						○看護師
		セルフケア再獲得に向けての 看護	セルフケア再獲得の理解・中途視覚 障害・脊髄損傷	1	30	10	2	◎		1	○			
		脳血管障害	10			◎		○看護師						
		慢性関節リウマチ	4			◎		○看護師						
		セクシュアリティ	4			◎		○看護師						
		緩和ケアを必要とする人の看護	終末期の理解と看護	1	30	20	2	◎		1	○			
		終末期医療における倫理	4			◎		○看護師						
		疼痛緩和		4	◎	○看護師								
		成人の看護過程		1	30	28	2	◎		1		○		
老年看護学	老年看護学概論		1	30	28	2	◎		1	○				
	高齢者の日常生活援助技術		1	30	28	2	◎		1	○				
	高齢者の健康障害時の看護	疾患・障害に応じた看護	1	30	18	2	◎		1	○				
	治療・処置、終末期の看護	6			◎		○看護師							
褥瘡予防のケア	4	◎												
高齢者の看護過程		1	15	14	1	◎		1		○				
小児看護学	小児看護学概論		1	30	28	2	◎		1	○				
	小児の発達段階に応じた看護		1	15	14	1	◎		1		○			
	小児の健康状態に応じた看護		1	30	28	2	◎		1		○			
	治療を受ける小児の看護	小児疾患の理解	1	30	6	2			1	○		○		
様々な小児の看護	12	◎			○看護師									
看護過程	10	◎			○看護師									
母性看護学	母性看護学概論		1	30	28	2	◎		1	○				
	妊婦・産婦の看護	マタニティピクス	1	30	2	2			1	○				
	妊婦の看護	14			◎		○助産師							
	産婦の看護	12			◎									
	褥婦・新生児の看護	褥婦の看護	1	30	10	2	◎		1	○				
	看護過程・保健指導	12			◎									
新生児の看護	6	◎												
周産期にある人の ハイリスク時の看護	ハイリスクの病態生理他(産科)	1	15	6	1			1	○	○				
ハイリスクの病態生理他(小児科)	2					○医師								
ハイリスク状態にある人の看護	6			◎										

分野	教育内容	科目	授業科目	単位	時間数	時間数内訳		実務経験のある教員			履修学年			
						授業	試験	専任教員	外部講師	単位	1学年	2学年	3学年	
専門分野Ⅱ	精神看護学	精神看護学概論	精神看護の基本	1	30	22	2	◎	○MSW	1	○			
			精神の危機			4		◎						
			当事者の理解			2								
		精神看護の基本技術	基本技術	1	15	10	1	◎	○看護師	1		○		
			SST			4								
		精神に障がいをもつ人の理解	精神疾患の理解	1	30	16	2	◎	○医師	1		○		
			精神科看護の基本			10								
			社会復帰にむけた支援			2								
		精神に障がいをもつ人の生活と看護	精神科看護	1	30	20	2	◎		1		○		
			看護過程			8		◎						
専門分野Ⅱ 講義 小計				22	600					22				
専門分野Ⅱ	臨地実習	成人看護学実習Ⅰ	セルフマネジメント・セルフケア再獲得に向けての看護実習	2	90	90		◎		2	○			
		成人看護学実習Ⅱ	健康危機状況にある人の看護実習	2	90	90		◎		2				
		成人看護学実習Ⅲ	緩和ケアを必要とする人の看護実習	2	90	90		◎		2				
		老年看護学実習Ⅰ	高齢者の日常生活援助実習	2	90	90		◎		2				
		老年看護学実習Ⅱ	健康障害のある高齢者への看護実習	2	90	90		◎		2				
		小児看護学実習		2	90	90		◎		2				
		母性看護学実習		2	90	90		◎		2				
		精神看護学実習		2	90	90		◎		2				
専門分野Ⅱ実習 小計				16	720				16					
統合分野	在宅看護論	在宅看護概論		1	15	14	1	◎		1	○			
		在宅療養者の健康状態に応じた看護	終末期・難病・障がい等回復期・疾病の再発予防	1	30	24	2	◎		1		○		
		在宅看護技術	日常生活・診療補助	1	30	24	2	◎		1		○		
		在宅看護過程	在宅酸素療法			4		◎						
		在宅看護過程		1	15	14	1	◎		1		○		
統合分野	看護の統合と実践	看護管理と研究	組織の中の看護	1	30	6	1	◎	○看護師	1			○	
			看護研究の基礎			8		◎						
			ケーススタディ			15		◎						
		災害看護	看護の国際協力	1	15	4	1	◎	○看護師	1			○	
	診療補助技術における安全	10	◎											
	臨床看護の実践		1	30	28	2	◎		1			○		
	実臨地	在宅看護論実習		2	90	90		◎		2			○	
看護の統合実習			2	90	90		◎		2			○		
統合分野 小計				12	360				12					
総時間数				97	3,000				76					

実務経験のある教員が担当している授業単位 76 / 97 単位 (78.3%)

※専任教員とは
看護六法 第4 1

(3) 看護師養成所の専任教員となることのできる者は、次のいずれにも該当する者であること。ただし、保健師、助産師又は看護師として指定規則別表3の専門分野の教育内容(以下「専門領域」という。)のうちの一つの業務に3年以上従事した者で、大学において教育に関する科目を履修して卒業したもの又は大学院において教育に関する科目を履修したものは、これにかかわらず専任教員となることができること。

ア 保健師、助産師又は看護師として5年以上業務に従事した者

イ 専任教員として必要な研修を修了した者又は看護師の教育に関し、これと同等以上の学識経験を有すると認められる者